

丹沢山～蛭ヶ岳



2019年6月16日 前夜発 日帰り

メンバー C L 佐藤 小宮山 松本 (記録)

ルート：塩水橋 (駐車) 5:05—本谷橋 (登山口) 6:00—天王寺尾根—丹沢山 9:10

不動の峰 10:00—蛭ヶ岳 11:10—丹沢山—天王寺尾根—本谷橋 15:20—塩水橋 16:00

急遽、佐藤小宮山Pに参加させてもらい丹沢主稜の長いコースを歩いてきました。

聞くところによると、Kさんの自立した登山者になるためのトレーニング山行第〇弾！？

相変わらず志が高いです。私も見習わなくては(ー;))

前夜、雨も降り稲光もする中、翌日の晴れを期待し3人で車中泊。

4時半起床、30分ほど車を走らせ駐車スペースへ向かう。

本日のKさん課題は最初から最後まで先頭を歩くことだそうな・・・

★塩水橋～登山口

沢沿いの舗装道歩き。20分程経って道を間違えてる事を佐藤さんが気付く。

スタート地点に戻りゲート脇からリスタートする。朝から地味にきつい。しかしKさんは足取り軽やかにすいすい歩く。あやうく今度は登山口を見過ごしそうになるが、後方から天の声が聞こえてセーフ。

予定より40分ほど遅れてのスタートとなる。



<吊り橋に見とれていると通り過ぎる>



<尾根に出れば比較的楽かな？>

★登山口～天王寺峠

歩きづらい植林地帯や鹿よけフェンス脇の急登で、やはり丹沢ってキツイと思いつつ頑張っついて行く。どうやらコースから外れていたらしくここも佐藤さんに修正してもらいコースに戻れたのを道標によって知る。丹沢山まで4.6キロ。ここまで結構長かったので蛭ヶ岳まで行けるか不安になってくる。ピストンだからみやま山荘で待つものありか。



<天国へ続くかのように長い階段が続く>



< 道標も多くてきちんとしてる >

★天王寺尾根～丹沢山

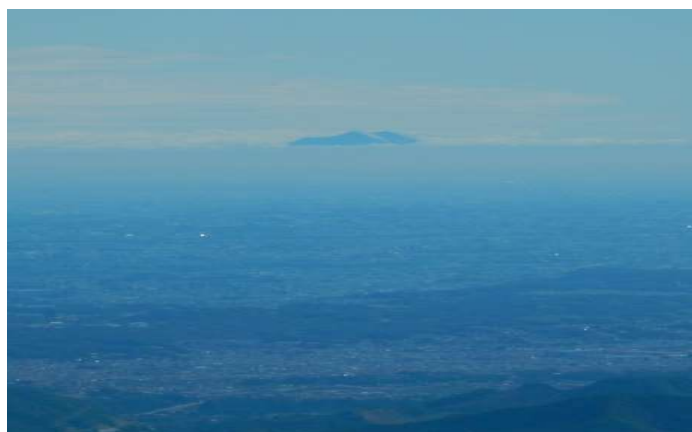
丹沢は木段が多い。有難いが滑るし踏み外せないからつい下を向いてしまうので、もっと少なくてもいいんじゃないか。と個人的に思う。

鎖場に差し掛かる手前で顔を上げるとガスが晴れてきて心も晴れる。

筑波山やスカイツリー、東京湾から相模湾まで見渡せた。



＜ハシゴ、鎖場は一箇所＞



＜ 頭を雲の上に出した筑波山＞

3 時間登ってようやく丹沢山頂上へ。しかし再びガスで眺望は無し。佐藤さんが泊まった事があるというみやま山荘でトイレを借りる。小屋内には季節の写真が飾ってあり中でも霧氷の写真に目が釘付けになる。冬の丹沢も良さそう。

★丹沢山～蛭ヶ岳

疲れてはいるものの、丹沢屈指の美しい稜線と言われるルート&丹沢最高峰を踏まない手はないだろうと歩き出す。ガスがまた晴れてきて激下りと激登りが一目瞭然となり改めてうんざりする。途中、不動ノ峰休憩所という立派な東屋がある。佐藤さんはここでビバークしたことがあるそうだ。後から知ったが、昔は修験者もここに宿泊し早戸大滝まで下って滝行をしたとか。当然だが我々の修行はその足元にも及ばない。



＜かっこよい看板＞



＜立派な休憩所＞

不動の峰を通過すると視界にドーンと綺麗な山が。「何、あの山!？」

「富士山じゃん!」雲をまとった富士山が他の山と見間違える程急に現れた、辛い事の後には良い事があるのは決っているのね。東の間現れた富士山と対面し休憩する。



鬼が岩を通過し、なだらかな笹原を超え、最後の階段はとてつもなく長く感じた。

まだ辛い事は終わってなかった。ようやくたどりついた蛭ヶ岳。

山メシを作る山男子でまずまず賑わっていた。

Kさんから美味しいみたらし団子をいただく。重いのに皆で食べようと持ってきてくれたのだ。
長い帰りに備えて充電完了。 ありがとう♪



< ちょっとガスった >



< mission complete ♪ >

今日は疲れてあまり食欲が無いと言って団子を1本しか食べなかったKさん、
全くそんな風に見えないどころか下りはさらにパワーアップしてスルスルと降りていく。
何度も遠く先で待っててもらった。みやま山荘へ立ち寄りコーラで休憩して一気に下山した
往路で間違えた部分を確認し(沢沿いへ行くべきところを直登してしまった?)
合計約23キロを二人に必死について行きました。
って私のトレーニングみたいになってしまった!?
が初めて晴れた丹沢を歩いて嬉しかったです。
参加させていただき ありがとうございます!

みやま山荘の 手ぬぐい ⇒

丹沢全コース制覇とか楽しそう!

